

2013年11月

## 加速器施設安全シンポジウムのご案内

J-PARC センター

### [1] 開催の趣意

J-PARC では本年5月23日に、ハドロン実験施設において放射性物質漏えい事故が起きました。事故の原因究明において、高エネルギービームを用いる大型加速器施設では、放射性物質発生リスクを考慮した安全管理のシステムと安全教育が重要であることを改めて認識いたしました。また、想定外の事態を招かないために、起こりえる事態について十分な検討が必要であることは極めて重要な教訓でありました。この事故を風化させないために、事故の内容と教訓をお伝えし、再確認しておくことは我々に課せられた責務であると考えます。

一方、J-PARC 以外の中大型加速器の場合にも、今回の事故のような放射性物質発生リスクは低いものの、安全システム、汚染と被ばくの管理等の加速器施設に共通した課題があり、さらに、高圧ガス、危険物・化学物質、クレーン作業など加速器の使用に伴う安全確保もきわめて重要な課題となっています。

そこで、J-PARC ハドロン事故の内容と経緯を報告してその教訓を共有するとともに、海外を含む中大型加速器施設における安全管理の現状や課題について情報を交換して、加速器施設の安全強化に資するために、下記の要領でシンポジウムを開催することを計画いたしました。こうした活動は今後増えると予想される国際協力や多国間にまたがった加速器プロジェクトなどの基盤整備の面でも重要と考えられます。

多くの方々に参加いただければ幸いです。

### [2] 開催要領

主催： J-PARC センター

共催： 高エネルギー加速器研究機構、日本原子力研究開発機構

日時： 12月11日(水) 10:00～17:00

会場： TKP ガーデンシティ竹橋(地下鉄東西線竹橋駅下車)

<http://tkptakebashi.net/>

参加申込・問合せ先： anzen-sympo13@j-parc.jp

J-PARC センター 業務ディビジョン 電話 029(284)4851

[3]. プログラム (案)

1. 開会の挨拶： 池田 裕二郎 (J-PARC センター) 10:00-10:10
  
2. J-PARC ハドロン事故の内容と教訓 座長：馬場 護 (J-PARC センター)
  - 2.1 J-PARC ハドロン事故の経緯と教訓 (40 分+20 分)： 10:10-11:10  
齊藤 直人 (J-PARC センター)
  - 2.2 J-PARC ハドロン事故に関するコメント及び総合討論： 11:10-12:10  
熊谷 教孝 (SPring-8 大型放射光施設)  
中野 貴志 (大阪大学 核物理研究センター)  
峠 暢一 (高エネルギー加速器研究機構)  
(各 10 分+討論)
  
- 昼 食 12:10-13:00
  
3. TRIUMF (カナダ国立素粒子原子核物理研究所) からのコメント 13:00-13:30  
座長：齊藤 直人 (J-PARC センター)  
小中 哲 (TRIUMF) (25 分+5 分)
  
4. 加速器施設における安全管理の経験と課題 (各 15 分) 13:30-15:45  
座長：柴田 徳思 (日本アイソトープ協会)
  - 1) 東北大学 電子光理学研究センター： 菊永 英寿
  - 2) 東北大学 サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター： 渡部 浩司
  - 3) 理化学研究所 仁科加速器センター： 上蓑 義朋
  - 4) 高エネルギー加速器研究機構： 小野 正明
  - 5) 放射線医学総合研究所： 村上 健
  - 6) 日本原子力研究開発機構 高崎量子応用研究所： 春山 保幸
  - 7) 大阪大学 核物理研究センター： 福田 光宏
  - 8) SPring-8 大型放射光施設： 長岡 鋭
  
- コーヒーブレイク 15:45-16:00
  
5. 総合討論—加速器安全の考え方と課題— 16:00-16:55  
座長： 井上 信 (京都大学)  
コメンテーター： 矢野安重 (理化学研究所)  
延與秀人 (理化学研究所)  
住吉孝行 (高エネルギー加速器研究機構)
  
6. 閉会の挨拶： 加藤 崇 (J-PARC センター) 16:55-17:00